

## 第40回鳥取県小学生バドミントン選手権大会中部地区予選会 (変更)

- 1 主催 鳥取県バドミントン協会、鳥取県小学生バドミントン連盟
- 2 主管 中部地区小学生バドミントン連盟・中部地区各バドミントン協会
- 3 期 日 **2020年7月23日(木、祝日)、26日(日)** 午前9時15分開会式 午前9時30分競技開始
- 4 会場 琴浦町総合体育館 琴浦町大字田越 560 ☎0858-52-2047
- 5 種別・種目 (1) 6年生以下 男女別 単・複  
(2) 5年生以下 男女別 単・複  
(3) 4年生以下 男女別 単・複
- 6 競技規則 2020年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- 7 競技方法 トーナメント戦又はリーグ戦。単・複とも順位決定戦を行う。
- 8 使用器具 (1) (公財)日本バドミントン協会審査合格用器具を使用する。  
(2) 大会使用球は、2020年度(公財)日本バドミントン協会第1種検定合格球を事務局で一括準備をして、1ダース単位として各チームで購入する。
- 9 参加資格 (1) 倉吉市・東伯郡内在住の小学生で、2020年度(公財)日本バドミントン協会に登録を完了した者  
(2) 単・複を兼ねて出場することはできない。  
(3) 複は同一クラブに所属するペアであること。
- 10 組合せ レフェリー(競技役員長)、デピュティレフェリー(競技審判部長)及び主管連盟が行う。
- 11 参加料 1人**1,200円**とシャトル代1ダース3,500円×本数分を大会当日納入のこと。
- 12 申込締切日 **2020年7月8日(水)** 必着 (組合せ:7月**12日(日)**)
- 13 申込書 所定の申込書により、大会事務局に郵送又はメールで提出すること。また、申込と合わせて購入するシャトル数を必ず連絡をすること。
- 14 大会事務局 〒682-0835 鳥取県倉吉市長坂町470 高橋 義博 ☎090-7133-5899  
メール:y.taka0812@gmail.com
- 15 選手選考 男子単4位以内及び女子単8位以内並びに男・女複4位以内の入賞者には、第39回鳥取県小学生バドミントン選手権大会の出場権(9月5日・米子産業体育館)を与える。ただし、権利者が出場を辞退する場合は大会ランキング(1位の敗者を3位、2位の敗者を4位とし、5位以下も同様に上位の敗者を上位とする。)により出場権を与える。
- 16 備考 (1) この大会に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に使用することはありません。  
(2) 競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上着背面中央にチーム名(クラブ名)・選手名を単一色で明瞭な文字で表示すること。文字列の大きさは、高さ6~10cm 幅30cm以内とする。表示のない選手は失格とする。県協会の規程に準拠したゼッケンを使用してもよい。ゼッケンを使用する場合は4隅を留めること。

(例)

|      |
|------|
| チーム名 |
| 選手名  |

- (3) 選手はスポーツ保険等に加入し、安全確保に万全を期すること。
- (4) 保護者の同意を得て、監督(責任者)が指導、引率を行うこと。
- (5) 大会結果及び大会会場で撮影された映像は、報道等を目的に主催、主管協会HP等に使用される場合があります。

- (6) 大会を2日に分けて開催するため、申し込み状況を確認してから、振り分けを行うので、組み合わせ後に各チームへ連絡をする。
- (7) 開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策のため、(公財)日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン(令和2年6月12日)に基づき、所要の手続を講じること。  
なお、大会当日に遵守して頂く詳細については、後日連絡をする。

## スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）

### 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
  - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

### 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
  - 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
  - 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
  - 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすることがあること
- 位置取り：走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

本チェックリストはあくまでサンプルであり、各スポーツイベントの特性等を勘案して、上記以外に感染拡大防止のための必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いいたします。